

---

2019年度 第1回

郵博 特別切手コレクション展

# 前島密没後 100 年記念展

展示作品解説パンフレット



主催

郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

後援

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

開催日時

2019年4月19日（金）13:00-17:30

2019年4月20日（土）10:00-17:30

2019年4月21日（日）10:00-17:30

会場

郵政博物館

---

## 前島密の時代の逓信事業（1874～1915）

## ～官制・管轄・局種・消印・取扱（8）

片山七三雄

前島密（1835-1919）が郵便に関係する部署に就いたのは 1870 年の事であった。その後二回ほど逓信事業の枢要ポストに計 13 年近くにわたり就き、今日の郵便の礎を築いた。

この間 1885 年の内閣制度発足、1889 年の大日本帝国憲法発布に伴い、各種の近代的な法律が次々と施行されていった。逓信事業の方も、1883 年の郵便条例施行など、明治中期～大正初期にかけて内国郵便制度が整備されるのに合わせ、中央管理、地方管理の体制も整備されてきた。これと並行する形で、郵便局の局種や取扱事務、消印も整理統合されたのがこの時代である。



図版：1885年12月22日 内閣制度発足に伴い、逓信省新設の初日使用例。「東京」の表示があるも、新設の「逓信省」の「郵便局発着課（現業）」が使用した日付印。

## 前島密 - 特別支援教育への貢献 - (1)

大沢 秀雄

前島密は我が国の近代郵便制度の創設に尽力するとともに、特別支援教育の創設とその発展に尽力した。

明治 9 年、杉浦譲の紹介により楽善会に入会し、楽善会訓盲院（現・筑波大学附属視覚及び聴覚特別支援学校）の設立に貢献した。明治 34 年、東京盲啞学校の商議委員になり、盲啞教育に終生、尽力した。楽善会訓盲院の開設当時、駅通頭であった前島密は、訓盲院生徒が学資の補助のために製作した駅通用封筒の販売を斡旋した（リーフ 11）。

参考論文：大沢秀雄、楽善会訓盲院の盲啞生徒が製造した駅通用封筒の発見－前島密と楽善会訓盲院－、筑波技術大学テクノレポート、15 巻、p.75～80、2008、<http://hdl.handle.net/10460/212>

（筑波技術大学保健科学部保健学科鍼灸学専攻 准教授 大沢秀雄）



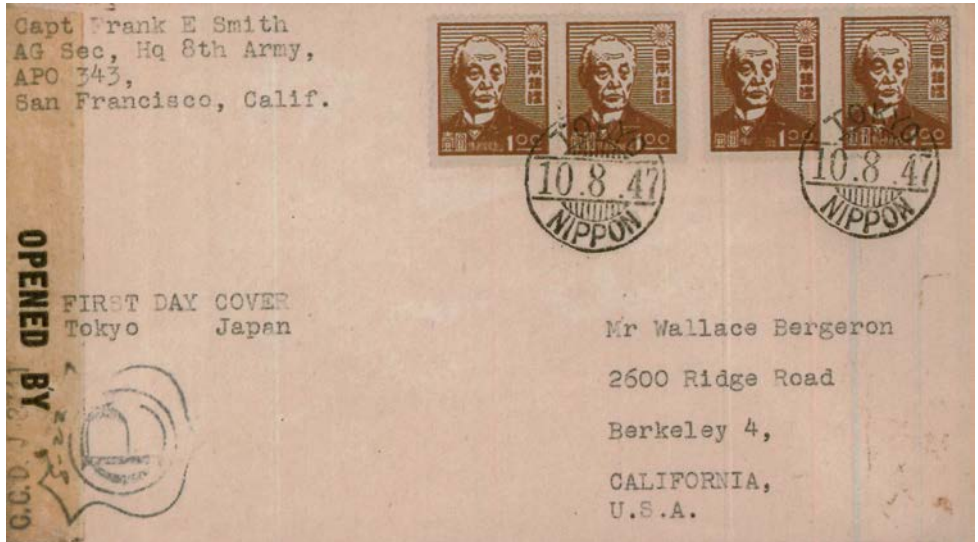
## 新昭和切手の前島密 (1)

飯澤 達男

新昭和切手は、戦後平和日本の新時代に相応しい図案により、昭和 21 年から昭和 23 年まで 30 種類発行された。前島密の図案は 2 種類に採用されている。

混乱期発行のため、製造面では用紙、銘版等の違いがあり変種も多い。使用面では消印のバラエティーや郵便料金が短期間に度重なる改正があり、この時代の特徴となっている。

この作品は 15 銭と 1 円切手について、製造面の基礎分類と、使用例については初日便や葉書、封書、外信便等の基本的なものをまとめた。





## 前島密 15 銭の版分類 (3)

大村 公作

本作品は第 1 次新昭和切手の 15 銭前島密の製造面の版分類の調査を基に構成したもので、基本的な分類は表現が可能な銘版付きペアで示し、2 次乾板は飽くまで仮分類であるが、それらの分類には実用版の定常変種も含まれている。

また、銘版付き 20 枚ブロックを主体に展開したのは、シート上に出現する版欠点の変化が、主に 20 枚ブロックに集中しているので、2 次乾板の分類に極めて好都合なのである。

なお、版欠点はリタッチによる修正が頻繁で、2 次乾板上でのリタッチ修正もあり、実用版上でも行われている。したがって一度は拡大した版欠点、拭き取りによって修正されていて、正確な分類は複雑且つ困難なので、作品では飽くまでも仮分類となっている。また、定常変種は各版ごとに単片でほぼ全種を表示してある。

## 1 次新昭和 15 銭 前島密 (1)

有吉 伸人

この作品は、第 1 次新昭和切手の 15 銭前島密を 1 F にまとめた伝統郵趣コレクションです。製造面は、基本的に紙とすかしで分類し、戦後の混乱期に発行された新昭和切手ならではの印面バラエティを展示しました。

新昭和切手を集め始めて、まだ 1 年足らずで、基本のマテリアルも揃っていませんが、まずはリーフ上で整理してみようと挑戦したものです。ご指導の程、よろしく願いいたします。



灰白紙 狭すかし 銘版付き 20 枚ブロック

## 15 銭前島密 (1)

横矢仁

本作品は平版オフセット印刷である第1次新昭和切手15銭前島密を製造面、使用面の両面から16リーフに展開した作品です。

製造面では、基本的な用紙別の刷色変化を示すとともに、版分類は銘版付ブロック上の定常変種から原乾板を第I版、第II版に分類、さらに細分類し、用紙・刷色を加味して整理しています。

その他面白い変種として、横すかしや、裁断ミスによる上付き銘版(下図)や裏うつり、定常変種、リタッチ修正等を展示しています。また、使用面では用紙別の消印バラエティと第1種~第5種郵便物のインパクトのある使用例を選んで紹介しています。



## 郵便創始 75 周年・80 周年記念 (1)

馬淵 正比呂

この度公開する作品は、郵便創始を記念して発行された錢位・記念切手を纏めたものである。戦後初期、前島密は記念切手にも図案として採用された。通常切手でも同様に採用されたが、発行枚数が多かった為なのか、使用例もそれなりに現存している。しかし発行枚数が限定される記念切手の場合、途端にその姿を見かけなくなる。それは記念切手という特徴であるが故に、『退蔵』されてしまったのが原因であると、本作品より感想として述べられる。



第一次動植物国宝切手の前島密 (1)

赤塚 東司雄

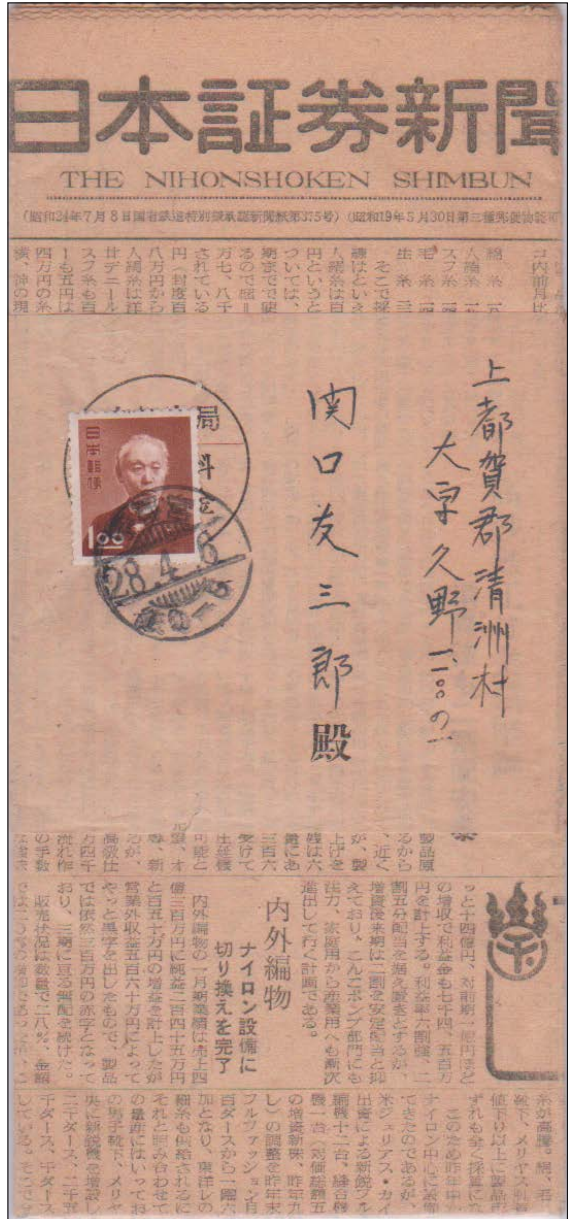
第一次動植物国宝切手(銭単位)の1.00 円前島密切手は、通常切手におけるグラビア印刷の最初の切手である。

製造面では、技術の試行錯誤の開発過程であり、原乾板定常変種だけでも多数が存在している。

銘版も旧庁銘(99番)、新庁銘(98番)の2種があり、みほん字入り銘10や無目打ちペアなどを交え、製造面の探求も紹介した。

使用面においては発行当時の郵便料金に適應する使用例を揃えたほか、加貼用の切手という側面を表現した使用例も揃えてみた。

新昭和切手の時代1946年に左向きの肖像で初登場したのち、途中で右向きの肖像に変えて現在まで発行が続けられている日本を代表する切手を、製造面使用面両方から展開、紹介した。





## 新動植物国宝図案切手 前島密 1 円 (1)

濱谷 彰彦

万国郵便連合 (U.P.U) の新規則により、切手図案の中に国名表示「NIPPON」を表示するようになり、このシリーズを「新動植物国宝図案切手」という。

前島密 1 円切手は 1968 年 (昭和 43) 1 月 10 日に発行され、郵便自動取り揃え押印機用に印面周囲に色検知枠を入れている。前島密 1 円切手を、製造面 (目打型式、定常変種、銘版、カラーマーク) と使用面 (消印、使用例) から分類した。

## 1968 1 円前島密切手の製造面研究 (5)

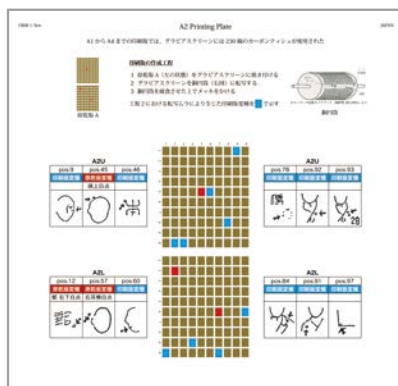
吉田 敬

1968 年 1 月 10 日に発行された 1 円普通切手は、2010 年まで 40 年以上もの長期間に渡り製造された長寿切手です。本コレクションは、この切手の製造面を研究した専門コレクションです。

40 年以上もの長期に渡り切手を同一品質で製造するのは、現代の技術をもってしても困難であり、本切手は大変興味深い収集対象です。

原乾版変種と印刷版変種に注目し特定した 13 の印刷版を時系列に展開した上で、各時期における目打、計数番号、カラーマーク、ホチキス綴じ穴などのバラエティにより更に製造時期を絞り込むように心がけました。

とっつきにくい製造面を少しでも身近に感じていただけるように、リーフの説明は、ビジュアル性を心がけました。



## 現行 1 円切手 無目打・未裁断 400 面シート (1) Cartor Security Printing

本展示は、所有する仏企業カルトール社に対して、主催者よりご出品の依頼を行い、お借りしたマテリアル類を展示するものです。

2017 年 11 月に、普通切手 5 額面について、仏カルトール社製造の切手が日本郵便株式会社に納入され、同年 12 月から翌年初めにかけて、郵便局窓口に出現し始めました。

5 額面は、1 円、5 円、20 円、30 円、50 円で、このうち、1 円切手について、製造元より目打穿孔とシート裁断工程前の 400 面シートを展示用にお借りすることができました。

この 400 面シートを見ると、中央部で上段と下段の切手がテートベッシュになっていること（下図）や、カラーマークが上側しかなく周囲に様々な印刷情報があるという製造工程が理解できます。このような状態の切手の展示は滅多にないことですので、この機会に是非ご覧ください。



## 大日本帝国郵便切手沿革史 (8)

## スタンペディアプロジェクト

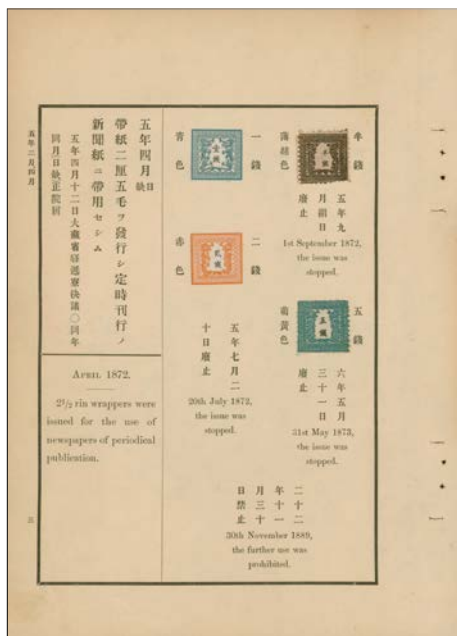
本展示内容は、右綴じ書籍であるため、通常の切手展の展示向きとは逆に右から左に向かい展示を行っておりますので、ご了解ください。

本コレクションには、明治 29 年 3 月 6 日 (1896 年) に逓信省通信局から刊行された同名の書籍の全てのページが展示されています。

この書籍は、誰でもが書店で買い求められる様な本ではなく、限定 500 部・非売品で、主に日本政府高官や外国大使等に贈呈されたと言われています。

最大の特徴は、明治 4 年より 27 年 3 月迄に発行された現物の切手やステーションナリーが貼り付けられていることです。(一部模刻) つまりこの一冊を入手すれば、前島密の功績の一つである日本の初期の「切手」「葉書」などを全て未使用で入手することができます。日本人はもちろん海外の切手収集家の中にもこの書籍の完全本を所有する人がいるほどです。

また、切手の製造や使用に関する貴重な資料や統計が付属しており、日本の初期の切手の高度なコレクションを作るにあたって参考となる情報が詰まった第一級の郵趣文献と評価されています。



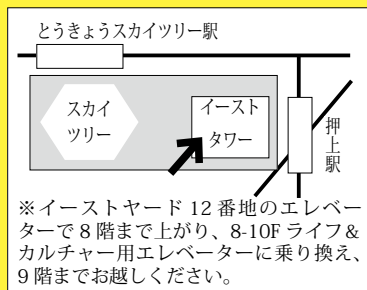
# 郵博 特別切手コレクション展

1902年(明治35年)に開館した「郵便博物館」に  
その起源を遡る「郵政博物館」で開催される特別展です

## 2019年度に開催予定の特別切手コレクション展一覧

開催期間	特別展名
4/19-21	前島密没後 100 年記念展 郵便の父・前島密翁の遺徳を偲び、関連郵趣品や博物館秘蔵の逸品を公開
4/27-5/6	改元記念・皇室関係フィラテリー展 平成の終焉と新元号への移行という節目に臨み、皇室関係の郵趣品を一堂に展示
5/18-19	郵便制度史展 2019 ポスタル・ヒストリーのメイン・ストリームを織りなすコレクションの数々
6/8-9	南方占領地のフィラテリー展 第二次世界大戦中に日本が南方占領地で発行した切手のコレクション
10/5-6	ステーションナリー展 わが国における「ステーションナリー」の最高峰コレクションが揃い踏み
10/12-13	第7回ヨーロッパ切手展 今年のテーマは「英国・英領」。国内外切手コレクターの力作が並ぶ。
10/19-20	製造面勉強会ワークショップ展 従来の製造面勉強会を展示中心のワークショップへと進化させた新形式の取り組み
2020年 2/1-2	第3回いずみ展 わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる

特別切手コレクション展の開催時間は原則として午前10時～午後5時半ですが、初日だけ12時開始になる事が多いので、ホームページでご確認の上、お越してください。



### 郵政博物館への行き方

所在地 東京スカイツリータウン・ソラマチ9階  
※イーストヤード12番地のエレベーターで8階まで上がり、8-10Fライフ&カルチャー用エレベーターに乗り換え、9階までお越してください。

最寄駅 押上駅(東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、東武スカイツリーライン、京成押上線)、とうきょうスカイツリー駅(東武スカイツリーライン)両駅から直結。

共催 郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

<http://kitte.com>